

社説

2016.4.3

月として2001年(159万9528台)以来、15年ぶりの高水準となった。前年実績を2カ月連続で上回った。ガソリン安を追い風に、スポーツタイプ多目的車(SUV)など比較的大型の車種が好調だった。ただ、営業日が前年に比べ2日多かったことによる押し上げも大きく、季

県建築士会が、富山の建築職人の聞き取り調査事業「建築職人アーカイブ」に取り組み、成果が一冊にまとまった。戦後、富山の住まいや街並みを形作ってきた職人たちの貴重な証言集となっている。

調査事業は2012年の県建築士会創立60周年に合わせて行い、大工、板金、左官、建具など多種多様な26職種の90人を超す職人の話をまとめた。

持ち家率や一住宅当たりの延べ床面積などで全国トップクラスの富山県は、木造建築の高い技術力を有する。アーカイブが物語るのは、時代に合わせて技能を進化させてきた職人たちの歴史である。

一方で読み取れるのは、木造

1	フォード・モーター(米)	25万3064台
2	GM(米)	25万2128台
3	トヨタ自動車	21万9842台
4	FCA US(米)	20万9712台
5	日産自動車	16万3559台
6	ホンダ	13万8221台
7	現代自動車(韓国)	7万5310台
8	起亜自動車(韓国)	5万8279台
9	富士重工業	4万9285台
10	メルセデス・ベンツ(ドイツ)	3万1236台
11
12	フォルクスワーゲン(ドイツ)	2万6914台
13	マツダ	2万3396台
14
15	三菱自動車	1万1078台

※FCA USは旧クライスラー。米調査オートデータ調べ。()内は前年同月比率%、▲はマイナス

富山の建築職人

存在意義を見直したい

建築を取り巻く環境の激変ぶりだ。生活様式の変化や機械化に伴い、職人の減少が著しい。例えば畳店は、住宅の洋装化に伴う和室の減少傾向もあり、この10年余りで10分の1程度にまで減ったという。

施工の中核となる大工不足も深刻だ。国勢調査によると、10年の県内の大工は4280人で、1995年の7741人からは半減に近い。全国的にも同様の傾向で、年間約3万人もの減少を招いている。高齢化も進んでおり、次を担う世代への技能継承が危うい状況だ。

プレカット工法は県内でも9割近くを占めるようになったとされ、建築現場で大工の手刻みの技術が発揮される機会は少なくなかった。

しかし、大工が減っていく一方となつては、身近な生活に大きく影響しかねない。増改築やリフォームの現場では、建築の構造をしっかりと理解した大工が造作や仕上げなど、一連の仕事を管理する必要があるためだ。

職人の存在意義はもっと見直されるべきだろう。その技能は今後の住まいづくりでも大いに発揮されるはずだ。

綿々と受け継がれてきた手刻みの技能があつてこそ、さまざまな現場で現代社会のニーズに応えられるケースがある。

県護国神社は、大拝殿の耐震補強工事を行う。伝統工法で建てられた大拝殿は、大屋根を柱だけで支える。壁で囲えば手も増えている。いずれの場合も木造建築を理解し、培った技術を現代に生かす知恵を備えた担い手が欠かせない。

県内では、大工や庭師を志す人材が集う職業学院(富山市東黒牧・大山)が創立20周年を迎えた。県内各地で寺社の修復作業を行うなど、現役の生徒や卒業生の活躍は心強い。

県は2015年度まで、県建築組合連合会に委託して大工職人育成支援事業に取り組んできた。担い手の育成は今後も、各方面で危機感を持って取り組む必要がある。

身に付けた建築技術は、現代に生かすことのできる大きな可能性がある。そのことを、若い世代に伝えていきたい。

12・7%伸びたほか、6位のホンダも9・4%増、三菱自動車も13・5%増えた。これに対し、3位のトヨタ自動車は2・7%減の21万9842台だった。S

は1日、ドイツのフォルクスワーゲン(VW)が2012のディーゼル車、推定9万1千台を米国でリコール(無料の回収・修理)すると発表した。VWによると、この車種は排ガス規制逃れ問題の不正対象車でもあるが、「関連はない」という。

【ワシントン共同】安倍晋三首相は1日午後(日本時間2日午前)、インドのモディ首相と米ワシントンで会談し、中国が海洋進出を続ける東・南シナ海情勢について「深刻な懸念」を共有するとの認識で一致した。両首脳の会談は昨年12月にインドのニューデリーで開催して以来。会談で安倍首相は、中国を念頭に「東シナ海や南シナ海で現状を変更し、緊張を高める一方的行動を深刻に懸念する」と表明した。モディ首相は「相互依存が深まる国際社会では国際法に従った対応が必要だ。考えを支持する」と